

21世紀の世界を 平和を願うAALAの 人々とともに あゆみませんか

世界で広がる平和の共同体

アジアでは、ASEANを中心とする平和のアジア共同体が大きく前進しています。

かつて「アメリカの裏庭」といわれたラテンアメリカでは、ベネズエラをはじめとして、選挙による対米自立の政権が次々に樹立されています。

こうしたダイナミックな変化は、貧困と格差を克服し、平等でゆたかな社会をめざす草の根の運動が土台となっています。



東南アジアで進む共同体 東南アジア諸国連合 (ASEAN)



東南アジア諸国連合

東南アジア 10 ヵ国の経済・社会・政治・安全保障・文化での地域協力組織。本部はインドネシアのジャカルタにある。略称はASEAN(アセアン)。

東南アジア 友好・協力条約

TAC。国連憲章の諸原則、バンドン 10 原則、東南アジア諸国連合設立宣言、平和・自由・中立地帯宣言にもとずき、加盟国間の永遠の平和と経済、社会、文化などでの協力をめざす条約で、東南アジア 10 ヵ国を含め 34 ヵ国・1 機関が加盟している。

世界に広がる非核・非同盟の流れ

42.2 億人

人口(いずれも 2023 年)

アジア(中東など除く) 23 ヵ国の状況

世界 80.45 億人 国連加盟国 193 ヵ国

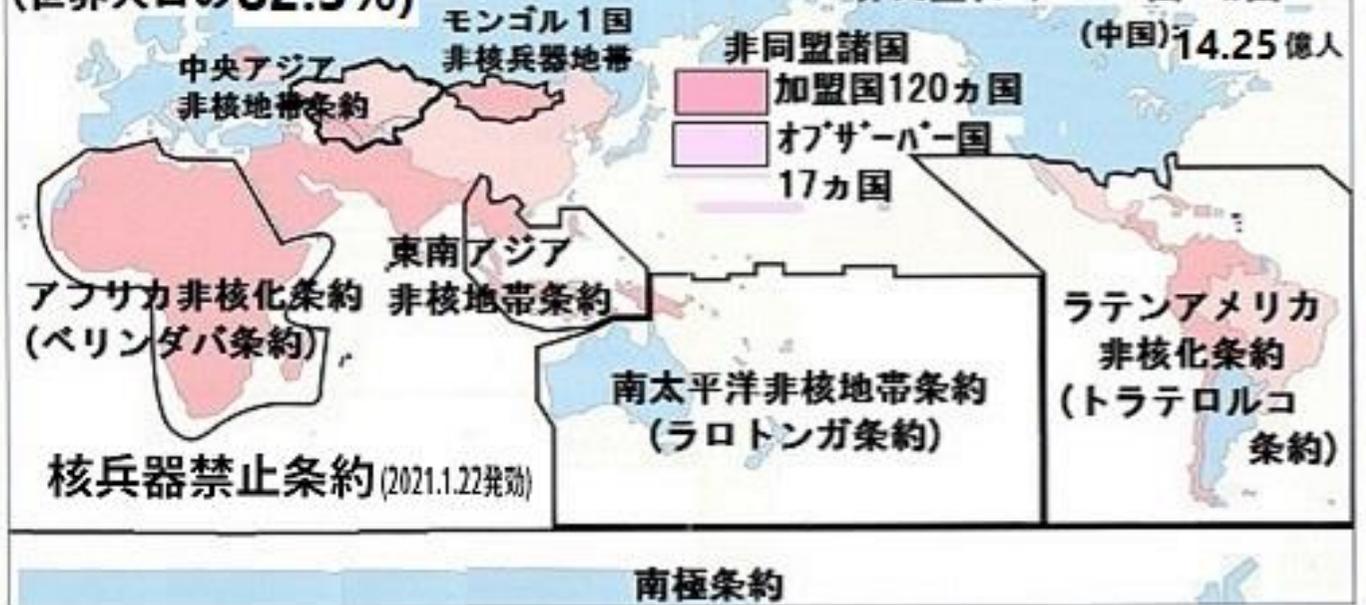
*軍事同盟加盟国 2 ヵ国(日本・韓国)

非同盟 66.25 億人 非同盟構成国 137 ヵ国

*非同盟加盟国 20 ヵ国 = 26.1 億人

(世界人口の 82.3%)

*非同盟オブザーバー国 1 ヵ国



平和 5 原則

1. 領土主権の尊重
2. 相互不可侵
3. 内政不干涉
4. 平等互惠
5. 平和共存

バンドン 10 原則

- ① 基本的人権と、国連憲章の尊重
- ② 国家の主権、領土保全の尊重
- ③ 人種、諸国民の平等
- ④ 内政不干涉
- ⑤ 国連憲章に従う個別的・集団的な自衛権の尊重
- ⑥ 集団的防衛機構を大国の特定の利益に用いず、他国に圧力をかけない
- ⑦ 領土保全、政治的独立への侵略、脅迫、力の行使をしない
- ⑧ 国際紛争は国連憲章に従い関係国が選択する平和的手段で解決
- ⑨ 共通の利益と協力の増進
- ⑩ 正義と国際的義務の尊重

非同盟首脳会議の開催地と参加国数及び国連加盟国数 (%は国連加盟国との対比)

	開催年	開催地	参加国	国連加盟国
第 1 回	1961 年 9 月	ベオグラード・ユーゴスラビア	25ヵ国 25%	99ヵ国(1960年)
第 2 回	1964 年 10 月	カイロ・エジプト	47ヵ国	
第 3 回	1970 年 9 月	ルサカ・ザンビア	54ヵ国 43%	127ヵ国(1970年)
第 4 回	1973 年 9 月	アルジェ・アルジェリア	75ヵ国	
第 5 回	1976 年 8 月	コロンボ・スリランカ	86ヵ国	
第 6 回	1979 年 9 月	ハバナ・キューバ	95ヵ国 60%	154ヵ国(1980年)
第 7 回	1983 年 3 月	ニューデリー・インド	101ヵ国	
第 8 回	1986 年 9 月	ハラレ・ジンバブエ	99ヵ国 62%	159ヵ国(1990年)
第 9 回	1989 年 9 月	ベオグラード・ユーゴスラビア	102ヵ国	
第10回	1992 年 9 月	ジャカルタ・インドネシア	99ヵ国	
第11回	1995 年 10 月	カルタヘナ・コロンビア	113ヵ国	
第12回	1998 年 9 月	ダーバン・南アフリカ	115ヵ国 60%	189ヵ国(2000年)
第13回	2003 年 3 月	クアラルンプール・マレーシア	116ヵ国	
第14回	2006 年 9 月	ハバナ・キューバ	118ヵ国 61%	192ヵ国(2005年)
第15回	2009 年 7 月	シャルムエルシエイク・エジプト	118ヵ国 61%	192ヵ国(2005年)
第16回	2012 年 8 月	テヘラン・イラン	120ヵ国 62%	193ヵ国(2011年)
第17回	2016 年 9 月	ボルラマル・ベネズエラ	120ヵ国 62%	193ヵ国(2016年)
第18回	2019 年 10 月	バクー・アゼルバイジャン	120ヵ国 62%	193ヵ国(2019年)

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ 連帯委員会 (AALA) は

アジア諸国民会議の決議を受けて設立されました。

- 1954年 ネルー（インド）・周恩来（中国）会談で「平和5原則」を合意、発表。
- 1954年 コロンボ会議、バンドン会議開催に尽力。
- 1955年4月 アジア諸国民会議（ニューデリー）。各国に連帯委員会の設置を確認。
- 1955年4月 バンドン会議（アジア・アフリカ会議）。「バンドン10原則」を採択。



写真 バンドン会議

- 1955年10月 日本アジア連帯委員会創立。
- 1957年12月 第1回アジア・アフリカ諸国民会議。アジア・アフリカ人民連帯機構（AAPSO）を設立。
- 1958年12月 日本アジア・アフリカ連帯委員会（日本AALA）と改称。AAPSOの書記局組織に。

非同盟諸国首脳会議のオブザーバー参加組織

- 1961年 第1回非同盟諸国首脳会議。AAPSOはオブザーバー組織となる。
- 1984年 日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会（日本AALA）と改称。ニカラグアなど中南米の変革とも連帯。

日本AALAはAAPSOの一員として非同盟諸国首脳会議にオブザーバー参加しています。

AALAの活動から

アジア平和文化交流
フェスティバル
(2012年10月20日
第2回文化フェスティバル)



学習

(2015年1月24日、いまなぜ
『慰安婦』問題なのか・
学習と交流のつどい)

国際交流
(2015年9月26日
キューバ講演会。マルコス・
ロドリゲス駐日大使を迎えて)



大阪AALAへの入会について

会費 月800円（年9,600円）
25才以下は年3,000円
入会金 500円

- * 会費の会計年度は毎年4月から翌年の3月です。半期ごとに4,800円づつご入金をお願いします。
- * 会費の中には機関紙代も含まれています。月初めに大阪AALAと日本AALAの機関紙を郵送いたします。

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会
Osaka Asia Africa Latin America Solidarity Committee

〒540-0004 大阪市中央区玉造 1-6-11 黒石ビル 3F
TEL 06-6768-5360 FAX 06-6768-5361
E-mail: osakaaala@nifty.com
ホームページ: 「大阪AALA」で検索
振込先 郵便口座 00920-4-20025 大阪AALA

大阪アジア・アフリカ・ ラテンアメリカ連帯委員会

おおさかAALA

世界を知って日本を変えよう！
あなたもぜひ大阪AALA(大阪アアラ)へ

私たちは、日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会（日本AALA）の地方組織です。1963年5月24日に創立しました。

非核・非同盟の日本と世界をめざし、アジア・アフリカ・ラテンアメリカの非同盟諸国を中心に、世界の人びととの友好・連帯の活動をしているNGO（非政府組織）です。

非同盟とは、どの国とも軍事同盟を結ばず、対等・平等の国際関係を持つことです。いま、この非同盟が世界の主流となっています。

しかし、日本政府は日米安全保障条約という軍事同盟を結び、日本には戦後70年たった今も130もの米軍基地があり、その維持・増強の費用まで負担するという異常な事態が続いています。

私たちは、“世界を知って日本を変えよう”のローガンのもと、学習を深め、世界の人びとと連帯し、民主団体や労働組合との共同をひろげ、憲法を生かし、日米安保条約を廃棄し、米軍基地をなくし、非核・非同盟の日本と戦争のない平和な世界をつくるために活動しています。



2015.5.24「東アジア共同体の構築をめざす国際シンポジウム」日本AALA主催(東京)